

2013 年 4 月 4 日

宇部湾岸道路(宇部スカイロード)開通式 開催される

さる 3 月 24 日、山口県が事業を進めてきた宇部湾岸道路(宇部スカイロード)の開通式が開催されました。

山本山口県知事、久保田宇部市長、河村衆議院議員など各行政機関、関係者ら約50人が出席し、市民待望の道路の完成を祝いました。式典終了後にはテープカット、くす玉開披、パレードを行い、午後4時から一般供用が開始されました。

宇部湾岸道路は、宇部市西中町から東須恵までの延長 6km(国道区間を含む)の自動車専用道路です。1994 年に事業着手、1999 年から本格的な工事がスタートし、2011 年 8 月に 2.2kmがすでに供用されていましたが、今回全線が供用開始となりました。

今回の開通により、宇部市街地と山陽小野田市街地の連携がより強化され、国道 190 号の慢性的な交通渋滞の緩和や、道路交通の安全性の向上が図られます。

また、宇部小野田地域の物流・人流の円滑化、高速・定時輸送による地域産業への貢献も期待されています。

同路線の特徴は、全区間が橋梁・高架橋で構成され、街路事業での地域高規格道路としては全国トップクラスの延長を誇っていることです。

また、住宅街を通る部分は遮音壁を設置したり、金属溶射や耐候性鋼材を使用したりするなど、周辺環境や長期的なメンテナンスにも配慮した構造になっています。

当社は、全国でも例をみない形状(S字曲線鋼・コンクリート複合斜張橋)で宇部市の新しいランドマークにもなっている栄川運河橋、県内では初のダブルデッキ構造である厚東川新橋など、主要な鋼製橋梁の施工に携わることで本事業の推進に貢献し、山口県他関係各位より高い評価をいただいております。



宇部市の新たなランドマークとなっている栄川運河橋



県内初のダブルデッキ構造となる厚東川新橋